

## 親子体験教室『天然ガスについて学ぼう!』 楽しくエネルギーのことを学びました

伊万里ガス株式会社の協力で、天然ガスについて親子で学べる体験型の教室が伊万里コミュニティセンターであり、13組30人の小学生とその保護者が参加しました。教室では、液化天然ガスを使った実験や火起こし体験などの不思議で魅力的なメニューが用意されていて、子どもたちは、初めてづくしの体験に興奮しながらも真剣に取り組み、笑顔いっぱいな時間を過ごしていました。



↑ マイナス 196℃の液化窒素を使って凍らせたバラを、手袋をした手で触れてみている参加者

## 国の天然記念物『伊万里湾カブトガニ繁殖地』 貴重な生き物 カブトガニの保護活動

市カブトガニを守る会と市教育委員会が瀬戸町の多々良海岸でカブトガニの産卵を観る会を開き、約80人が生きている化石と呼ばれる貴重な生物の産卵する姿に興味深く観察しました。この日は幼生の放流会も行われ、カブトガニの館や伊万里高校、牧島小学校で飼育された幼生約3,000匹を、小学生などが無事に大きく育つようにと願いを込めながら放流しました。



↑ カブトガニの産卵を観る会では、伊万里高校の理化・生物部の生徒が自作した説明パネルを使って解説しました

## 夏の伊万里で思い作り! sweetea(スイーツ×ティー) 大学生が取り組む関係人口の創出

伊万里の活性化に向けたフィールドワークなどの活動をしている長崎県立大学の馬場晋一研究室の学生たちが、伊万里の地域資源を組み合わせせた観光コンテンツの体験イベントを、くすきの杜(立花町)で開催しました。県内外から参加した15人が、自分の体質や体調に合わせて生薬を選ぶオリジナルの健康茶づくりや伊万里産のフルーツを使用したオリジナルのクレープづくりを笑顔で行っていました。



↑ 24種類の生薬から5種類を選び混ぜ合わせてオリジナルの健康茶を作る参加者

## 伊万里湾岸清掃 未来に残したい海があるから

海の日、伊万里湾内の環境を将来にわたって守ってほしいと、子ども会やスポーツ少年団、協賛団体などの15団体420人が、多々良海岸や楠久津公園など6箇所で、マナーが守られなかったために捨てられていたゴミを集めました。強い日差しのなか、参加者は大粒の汗を流しながら一生懸命に活動し、終わったときには達成感に満ちた表情を見せていました。



↑ 楠久津公園や久原埠頭周辺で回収したゴミです